

都市再生整備計画 事後評価シート
下関運動公園周辺地区

令和8年 3月

山口県下関市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	山口県		市町村名	下関市		地区名	下関運動公園周辺地区			面積	33.1ha	
交付期間	令和2年度～令和6年度		事後評価実施時期	令和7年度		交付対象事業費	7154.7百万円	国費率	0.5, 0.45			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	公園(下関運動公園再整備事業)、地域生活基盤施設(誘導サイン整備事業)、高質空間形成施設(下関駅・東駅線(歩道)(緑化施設等)整備事業)								
			提案事業	下関運動公園再整備設計事業								
	当初計画から削除した事業		基幹事業	なし		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
			提案事業	なし								
	新たに追加した事業		基幹事業	なし								
提案事業			立地適正化計画変更事業		都市機能誘導区域を設定し、持続可能なまちづくりに向け、さまざまな都市機能を誘導することが必要となったため。			影響なし				
交付期間の変更		当初	令和2年度～令和6年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-					
		変更	-									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	運動施設利用者	千人/年	258	H29	316	R6	333	○	ありなし	運動施設等を充実させたことにより、スポーツ活動を中心とした利用者数が増加した。	-
	指標2	地域交流事業の開催回数	件/年	0	R1	6	R6	16	○	ありなし	施設整備をすることにより、多彩な地域交流イベントの開催が可能となり回数が増加した。	-
	指標3	避難者数の増加	人	5,000	R1	6,700	R6	6,700	○	ありなし	施設整備をすることにより、緊急時における避難時の受入可能者数が増加した。	-
	指標4	-								ありなし		
	指標5	-								ありなし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	-										
	その他の数値指標2	-										
	その他の数値指標3	-										
4)定性的な効果発現状況	主要事業である下関運動公園再整備事業についてはPFIを導入したことに伴い、公共施設の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用することにより、効率的かつ効果的に公共サービスを提供できており、スポーツ活動を中心としたまちの賑わいに寄与している。											
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-			
	官民連携による取組	官民連携によるスポーツフェスタ等のスポーツイベントを開催した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 引き続き、スポーツ振興による健康で活力あるまちづくりを推進し、生涯スポーツ社会の実現を目指す。			
持続的なまちづくり体制の構築	SPCの設立			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 建設後においても、約15年間の維持管理、運営等を引き続きSPCが主体で行い、市はモニタリングを定期的に行い、適正な業務の遂行を監視する。				

様式2-2 地区の概要

下関運動公園周辺地区(山口県下関市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 下関市のスポーツ・レクリエーションの中核地としての機能の充実を図り、スポーツ振興による健康で活力あるまちづくりを推進し、生涯スポーツ社会の実現を目指す。 目標1: スポーツ・レクリエーションの場の充実を図り、誰もがいつでも身近で気軽にスポーツに親しむことのできる下関運動公園として再生し、多くの市民が訪れることによる周辺地区の賑わいの創出を図る。 目標2: 地域住民の相互交流の場となる活動スペースを整備することにより、地域のコミュニティ活動を支え、地域の活性化を図る。 目標3: 災害時の危険から緊急に逃れられる安全な避難空間等を整備することにより、都市の防災に関する機能の確保に寄与し、地区内の防災力向上を図る。	運動施設利用者	単位: 千人/年	258 H29	316 R6	333 R6
	地域交流事業の開催回数	単位: 件/年	0 R1	6 R6	16 R6
	避難者数の増加	単位: 人	5,000 R1	6,700 R6	6,700 R6

公園(下関運動公園再生整備事業)



公園(下関運動公園再生整備事業)



地域生活基盤施設(誘導サイン整備事業)



高質空間形成施設(下関駅・東駅線(歩道)(緑化施設等)整備事業)



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> アリーナ、多目的ホール、庭球場等の整備により、スポーツ・レクリエーションの場が充実し、運動公園を核とした都市機能の維持及び立地の促進を図られ、市民の生活利便性が確保できている。 地域住民の相互交流の場となる活動スペースが充実し、運動拠点を中心とする特色あるまちづくりが形成され、地域交流事業の開催が増加し地域コミュニティの維持や良好な居住環境が確保されている。 建築物の耐震化や誘導サインの整備、防災備蓄倉庫の整備等、防災機能が充実したことにより、市民が安全・安心に暮らしていることができ、災害時の避難空間が確保されている。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>整備した新総合体育館について、新たなスポーツ大会やコンサートなどを積極的に誘致することにより、利活用を推進するとともに、利用しやすい環境、サービス提供に向けた維持管理を行う。施設整備後の課題となった大きな大会開催時等における出庫車両の渋滞緩和に向けた対策をSPC事業者と連携して行っていく。また、公共交通機関利用者の円滑な移動をよりいっそう促進するための検討を行っていく。</p>